

設計内容説明書(耐震性)

RC造等用

建築物の名称:

- ・鉄筋コンクリート造等の住宅において、フラット35Sを利用する場合に記入してください。
- ・耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)2又は3の基準に適合する場合には、Ⅰに記入してください。
- ・免震建築物の基準に適合する場合には、Ⅱに記入してください。

Ⅰ 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)2又は3の基準に適合する場合

確認項目	設計内容説明欄				設計内容 確認
	項目	設計内容	評価方法基準	記載図書	
目標等級	目標等級	☐ 等級2 (適用倍率1.25倍) ☐ 等級3 (適用倍率1.5倍)	1-1(2)ロ	☐ 構造計算書 ☐ 構造図	☐ 適 ☐ 不適
構造概要	構造概要	構造種別 (造)	1-1(3) イロハニ	☐	
		骨組形式		☐	
		X方向 ()		☐	
		Y方向 ()		☐	
構造計算	計算条件	計算ルート			
		X方向 ()			
		Y方向 ()			
構造躯体	材料の仕様	☐ 限界耐力計算	1-1(3) イロハニ		
		☐ 保有水平耐力計算(ルート3) 保有水平耐力 $\geq$ () $\times$ 必要保有水平耐力 Co (二次設計) ()			
		☐ 許容応力度等計算(ルート2)			
		☐ 令第82条第1号から第3号まで・第82条の4の計算(ルート1)			
構造躯体	材料の仕様	☐ その他 ()			
		コンクリートの種類 ()			
		設計基準強度 (N/mm ²)			
		鉄筋種類			
構造躯体	材料の仕様	☐ SD295A ☐ SD345 ☐ SD390 ☐	1-1(3)イ	☐ 構造計算書	☐ 適 ☐ 不適
		☐ 高強度せん断補強筋 ☐		☐ 構造図	
		鉄骨種類		☐ 計画書	
		☐ SN材 ☐ SM材 ☐ SS材 ☐		☐ 配置図	

Ⅱ 免震建築物の場合

構造躯体	免震建築物	☐ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号に規定される免震建築物 ・同告示第2の該当する号 ☐ 一号(四号建築物) ☐ 二号(建築基準法20条第二号及び第三号に掲げる建築物) ☐ 三号(時刻暦応答解析を行い大臣認定取得) ・免震層・免震材料の維持管理に関する計画 ☐ 有 ☐ 無 ・敷地の管理に関する計画 ☐ 有 ☐ 無 ☐ その他 ()	1-1(3)イ	☐ 構造計算書 ☐ 構造図 ☐ 計画書 ☐ 配置図 ☐ ☐	☐ 適 ☐ 不適
------	-------	--	---------	--	---

注1) フラット35Sにおける耐震性に関する基準は次のいずれかになります。

	フラット35S(金利Bプラン)	フラット35S(金利Aプラン)
耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)	等級2又は等級3	等級3
耐震等級(免震建築物)	免震建築物であること、免震層・免震材料の維持管理に関する計画が定められていること、及び敷地の管理に関する計画が定められていること	—

注2) 太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で変更することができます。

注3) 書式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合にあっては、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。